

## 現代朝鮮語における〈n挿入〉の実現実態について (2) : 若年層ソウル方言話者を対象に

辻野, 裕紀  
九州大学大学院言語文化研究院

<https://hdl.handle.net/2324/1687769>

---

出版情報 : 朝鮮学報. 240, pp.25-66, 2016-07. 朝鮮学会  
バージョン :  
権利関係 :

# 現代朝鮮語における 〈n 挿入〉の実現実態について(2)

——若年層ソウル方言話者を対象に——

辻 野 裕 紀

【要旨】本稿は、辻野裕紀（2014b）に引き続き、現代朝鮮語における、若年層（20代）ソウル方言話者の〈n 挿入〉の実現実態について、記述、分析するものである。本稿では、特に外来語、混種語、いわゆる「語+レベルの複合語」、句について論じた。

まず、外来語においては、後行要素の頭音が〈n 挿入〉実現如何に最も大きく関わっている。後行要素の頭音が /y/ の場合は〈n 挿入〉が起きやすく、/l/ の場合は〈n 挿入〉がほとんど起きない。また、先行要素の末音や語構造（枝分かれ構造）、語の長さなども〈n 挿入〉実現如何に関与している。

混種語においては、後行要素の語種が〈n 挿入〉実現如何を統べる。つまり、後行要素が固有語であれば固有語合成語と、漢字語であれば漢字語合成語と、外来語であれば外来語合成語と類似した振る舞いをする。

いわゆる「語+レベルの複合語」でも、後行要素の頭音が〈n 挿入〉実現如何に最も大きく関わっている。語を問わず休止を志向するインフォーマントがいた点が他の漢字語合成語との違いだが、必ず休止を伴わなければならない日本語の語+レベルの複合語とは性質が大きく異なる。

句については、語の場合と異なり、発話速度や句の長さ、助詞の介在などの影響で休止実現率が高い句が散見されるものの、全体的な傾向としては、後行要素の頭音が〈n 挿入〉の実現如何に最も大きく関与するなど、語の場合とよく似た傾向が観察された。

以上の結果は、いずれも辻野裕紀（2014b）で明らかにした固有語や漢字語の〈n 挿入〉実現様相と類似している。

## 1. はじめに

本稿の目的は、現代朝鮮語における所謂〈n挿入〉、就中、若年層(20代)ソウル方言話者の〈n挿入〉の実現実態を明らかにするところにある。

〈n挿入〉は一般に、①先行要素が子音で終わり、②後行要素が<sup>(1)</sup>/i/か/y/で始まり、かつ③後行要素が自立的形態素である場合に生じるとされる<sup>(2)</sup>。しかしながら、この①②③の形態音韻論的条件を全て満たしていても〈n挿入〉が生じないことがある。また、既存の研究によれば、〈n挿入〉には方言差や世代差が認められるが、巨細なる実態調査は行なわれていない。

そこで筆者は、〈n挿入〉の実現実態を余蘊なく究明し、その総体に肉迫するために、固有語、漢字語、外来語、混種語、句のすべてを対象として、〈n挿入〉が起きる可能性のある語句(全1025個)について網羅的に調査を行なった。インフォーマントは20代のソウル方言話者33名(男14名、女19名)であり、2013年3月および9月にソウル特別市の2つの大学(誠信女子大学校、崇実大学校)で調査を実施した。調査方法は、筆者が事前に準備した調査票の語句をインフォーマントに読み上げてもらう、いわゆる〈読み上げ式〉<sup>(4)</sup>を採った<sup>(5)</sup>。そして、その結果の記述と分析、とりわけ固有語と漢字語については、既に辻野裕紀(2014b)において行なった。

本稿は、辻野裕紀(2014b)の承前である。紙幅の制約のために辻野裕紀(2014b)で扱えなかった外来語、混種語、いわゆる「語<sup>+</sup>レベルの複合語」、句における〈n挿入〉の実現実態について論ずる。本論に移る前に、辻野裕紀(2014b)で闡明し得たことを確認しておこう。

まず、固有語は、〈固有語合成語〉、〈固有語疊語〉、〈固有語単語+ (o) ㅁ〉の3つに分けうる。

固有語合成語において〈n挿入〉実現如何に最も大きく関わっているのは、「後行要素の頭音」と「後行要素の長さ」(後行要素の頭音が/i/の場合)である。後行要素の頭音が/y/の場合は総じて〈n挿入〉が起きやすい。後行要素の頭音が/i/の場合は、後行要素の長さが1音節の

現代朝鮮語における〈n挿入〉の実現実態について(2) (辻野裕紀) (27)

ものは〈n挿入〉が起きやすく、2音節以上のものは〈n挿入〉が起きにくい。また、他に「先行要素の末音(共鳴音か閉鎖音か)」、「なじみ度」、「語構造(複合語か派生語か)」も〈n挿入〉実現如何に関与する。

固有語畳語においても、後行要素の頭音が /y/ の場合は〈n挿入〉が起きやすく、/i/ の場合は起きにくい。他に「先行要素の末音」や「語の長さ」も〈n挿入〉実現如何に関わっている。語が長い場合には、休止を志向する傾向がある。

〈固有語単語+(ㅇ)요〉については、「丁寧さ」を表す補助詞 {요} の2つの異形態 /요/, /ㅇ요/ のうち、どちらがより現れやすいか、またその際〈n挿入〉が生じるか否かについて調べた。その結果、子音で終わる固有語単語には専ら /ㅇ요/ が付き、その際〈n挿入〉は生じないことが明らかになった。ほぼ唯一の例外は 정말요 [정말료] だが、これは意味的・機能的に考えて間投詞的であり、語彙化した発音だと考えられる。

次に、漢字語は、〈漢字語合成語〉、〈漢字語人名〉、〈姓+肩書等〉、〈姓名+肩書等〉、〈姓名+역(訳)〉、〈本貫+姓〉、〈漢数詞〉の7つに分けうる。

漢字語合成語において〈n挿入〉実現如何に最も大きく関わっているのは、「後行要素の頭音」である。後行要素の頭音が /y/ の場合は一体に〈n挿入〉が起きやすく、後行要素の頭音が /i/ の場合は〈n挿入〉が基本的に起きない。固有語合成語と異なり、後行要素の長さは問わない。また、固有語と同じく「先行要素の末音」も関与する。さらに、後行要素の頭音が /y/ であっても、〈1音節漢字語形態素+1音節漢字語形態素〉、〈1音節漢字語形態素+重音節で始まる2音節漢字語〉といった構造のものは概して〈n挿入〉が起きにくい。3つ以上の自立語からなる漢字語合成語は「語構造(枝分かれ構造)」も関わる。

〈漢字語人名〉では、「後行要素の頭音」と「後行要素の第1音節の音節構造」(後行要素の頭音が /y/ の場合)が〈n挿入〉実現如何に大きく関わっている。漢字語合成語と同じく、後行要素の頭音が /i/ の場合には〈n挿入〉が基本的に起きない。後行要素の頭音が /y/ の場合には、後行要素の第1音節が軽音節のものは〈n挿入〉が起きやすく、重音節

のものは起きにくい。また、他に「先行要素の末音」や「なじみ度」なども関わっている。

〈姓+肩書等〉でも、〈漢字語人名〉と概ね同じ傾向が観察された。

〈姓名+肩書等〉でも、漢字語合成語と同じく、「後行要素の頭音」がよく効いている。後行要素が여사《女史》や영사《領事》の場合、休止実現率が高く、その分〈n挿入〉実現率が低くなっているが、これは「語の長さ」が原因であろう。固有語疊語でも観察されたように、語が長い場合には休止を志向するようである。

〈姓名+역(訳)〉でも、後行要素の頭音が /y/ であることが作用し、概して〈n挿入〉が起きやすい。先行要素の末音も〈n挿入〉実現如何に聊か関与し、姓名の末音が閉鎖音の場合の〈n挿入〉実現率はやや下がる。

〈本貫+姓〉の〈n挿入〉実現如何も他の漢字語合成語のそれと軌を一にする。

〈漢数詞〉では、後行要素の頭音が完全に〈n挿入〉実現如何を統べている。後行要素の頭音が /y/ の場合は〈n挿入〉が起き、後行要素の頭音が /i/ の場合は〈n挿入〉が起きない。インフォーマントによる揺れもほとんど見られない。例外は, 일일[일릴]《一一》と일이[일리]《一二》だが、これらは頻度が圧倒的に高い組合せであり、語彙化した発音だと思われる。

以上のように、固有語や漢字語における〈n挿入〉の実現如何には、後行要素の頭音をはじめ、後行要素の長さ、先行要素の末音、なじみ度、語構造、後行要素の第1音節の音節構造、語の長さなど、多種多様な要因が抗衡しつつ、重層的に関与していると言える。では、他の語種や句においてはどうかだろうか。

以下、外来語、混種語、いわゆる「語+レベルの複合語」、句の順で分析を行なっていく。

なお、語例を提示するにあたっては、正書法は関係なく、1語と考えられるものはすべて続け書き(붙여쓰기)をし、〈n挿入〉<sup>(6)</sup>が起きる可能性がある位置(形態素境界)を‘-’で示す。

## 2. 外 来 語

調査した外来語は全25語である。

外来語でも、固有語や漢字語と同じく、後行要素の頭音が〈n挿入〉の実現如何に大きな影響を与えている。後行要素の頭音が /y/ の場合は〈n挿入〉が起きやすく、後行要素の頭音が /i/ の場合はほとんど起きない：

- ①後行要素の頭音が /y/ の場合→〈n挿入〉が起きやすい
- ②後行要素の頭音が /i/ の場合→〈n挿入〉がほとんど起きない

以下、①②各々について、具体語例を挙げつつ、確認および検討をしていこう。

### 2.1. 後行要素の頭音が /y/ の外来語

後行要素の頭音が /y/ の外来語の具体語例とその〈n挿入〉実現率等は次の通りである：

#### ①後行要素の頭音が /y/ の外来語 (全13語)：〈n挿入〉平均実現率73.4%

(7) 語	日本語訳	(8) n	(9) 終	(10) 休
세일-요트 (?)	セイルヨット	97.0%	0.0%	3.0%
블랙-유머 (?)	ブラックユーモア	93.9%	3.0%	3.0%
웨스턴-요들 (?)	ウエスタンヨーデル	90.9%	0.0%	9.1%
팀-유니폼 (?)	チームユニホーム	90.9%	0.0%	9.1%
웨스턴-유니온 (?)	ウエスタンユニオン	87.9%	0.0%	12.1%
존-영 (?)	ジョン・ヤング	87.9%	9.1%	3.0%
핫-요가 (?)	ホットヨガ	84.8%	12.1%	3.0%
맨-유 (?)	マンU	78.8%	21.2%	0.0%
빈-야사 요가 (?)	ヴィンヤサヨガ	75.8%	24.2%	0.0%
나사렛-예수 (×)	ナザレのイエス	66.7%	3.0%	30.3%
에릭-요한슨 (?)	エリック・ヨハンソン	60.6%	3.0%	36.4%

세일링-요트 (?)	セーリングヨット	21.2%	78.8%	
뉴욕-유엔본부 (?)	ニューヨーク国連本部	18.2%	6.1%	75.8%

上の表から分かる通り、後行要素の頭音が /y/ の場合、一体に 〈n 挿入〉が起きやすい。

一方、先行要素の末音も 〈n 挿入〉 実現如何に関わっている。例えば、세일링-요트의 〈n 挿入〉 実現率が低いのは、先行要素の末音が /ŋ/ だからであろう。辻野裕紀 (2014b: 12-13) で述べたように、先行要素の末音が /ŋ/ の場合の 〈n 挿入〉 は機能的に剩余的である。나사렛-예수, 에릭-요한슨의 〈n 挿入〉 実現率が、後行要素の頭音が /y/ の他の外来語に比べてやや低めに現れているのは、これらの先行要素の末音が閉鎖音であることが原因である。

後行要素の頭音が /y/ の外来語の中では、뉴욕-유엔본부の 〈n 挿入〉 実現率が最も低いが、これは、その分終声の初声化の実現率が高いからではなく、뉴욕と유엔の間に休止を置いて発音するインフォーマントが多かったからである。その主たる理由は、뉴욕-[유엔 본부] という右枝分かれ構造にある。뉴욕の末音が /g/ であることも関与し、全体的に〈n 挿入〉よりも休止を志向している。漢字語의 한국-[유학협회] などの例と類似している。<sup>(12)</sup>

## 2.2. 後行要素の頭音が /i/ の外来語

後行要素の頭音が /i/ の外来語の具体語例とその 〈n 挿入〉 実現率等は次の通りである：

### ②後行要素の頭音が /i/ の外来語 (全12語) : 〈n 挿入〉 平均実現率1.0%

語	日本語訳	n	終	休
핫-이슈 (?)	ホットイシュー	12.1%	87.9%	0.0%
골든-이어링 (?)	ゴールデンイヤリング	0.0%	97.0%	3.0%
그린-잉크 (?)	グリーンインク	0.0%	100.0%	0.0%
글로벌-인턴 (?)	グローバルインターン	0.0%	100.0%	0.0%

메인-이벤트 (×)	メインイベント	0.0%	100.0%	0.0%
빅-이슈 (?)	ビッグイシュー	0.0%	100.0%	0.0%
빅-인터뷰 (?)	ビッグインタビュー	0.0%	97.0%	3.0%
에릭-인그라함 (?)	エリック・イングラハム	0.0%	39.4%	60.6%
이란-이슬람공화국(×)	イラン・イスラム共和国	0.0%	30.3%	69.7%
존-이스너 (?)	ジョン・イスナー	0.0%	93.9%	6.1%
크레신-이어폰 (?)	クレシンイヤホン	0.0%	90.9%	9.1%
파키스탄-이슬람공화국(×)	パキスタン・イスラム共和国	0.0%	30.3%	69.7%

上の表から分かる通り、後行要素の頭音が /i/ の場合、〈n挿入〉はほとんど起きない。

에릭-인그라함, 이란-이슬람공화국, 파키스탄-이슬람공화국では、終声の初声化ではなく、休止を志向する傾向があるが、에릭-인그라함については語の長さ<sup>(13)</sup>と（なじみのない）人名であること、이란-이슬람공화국, 파키스탄-이슬람공화국については語の長さ<sup>(13)</sup>と枝分かれ構造をその要因として考えうる。

### 3. 混種語

調査した混種語は全166語である。

混種語には、〈漢字語+固有語〉(全56語)、〈外来語+固有語〉(全1語)、〈固有語+漢字語〉(全50語)、〈外来語+漢字語〉(全10語)、〈固有語+外来語〉(全2語)、〈漢字語+外来語〉(全47語)の6種類がある。以下、各々について見てみよう。

#### 3.1. 漢字語+固有語

〈漢字語+固有語〉の混種語については、全56語を調査した。

〈漢字語+固有語〉において、〈n挿入〉の実現如何に最も大きく関わっていると考えるのは、固有語合成語のそれと同じく、「後行要素の頭音」と「後行要素の長さ」(後行要素の頭音が /i/ の場合)である。すなわち、「後行要素の頭音が /y/ の場合」および「後行要素の頭音が /i/



でかつ後行要素の長さが1音節の場合」は〈n挿入〉が起きやすく、「後行要素の頭音が/i/でかつ後行要素の長さが2音節以上の場合」は〈n挿入〉が起きにくい：

- ①後行要素の頭音が /y/ の場合 → 〈n挿入〉が起きやすい
- ②後行要素の頭音が /i/ でかつ後行要素の長さが1音節の場合  
→ 〈n挿入〉が起きやすい
- ③後行要素の頭音が /i/ でかつ後行要素の長さが2音節以上の場合  
→ 〈n挿入〉が起きにくい

以下、①②③各々について、具体語例を挙げつつ、確認および検討をしていこう。

### 3.1.1. 後行要素の頭音が /y/ の〈漢字語+固有語〉

後行要素の頭音が /y/ の〈漢字語+固有語〉の混種語の具体語例とその〈n挿入〉実現率等は次の通りである：

- ①後行要素の頭音が /y/ の〈漢字語+固有語〉(全15語)：  
〈n挿入〉平均実現率54.5%

語	日本語訳	n	終	休
담-요 (○)	毛布	100.0%	0.0%	0.0%
기본-양념 (○)	基本ヤンニョム	97.0%	3.0%	0.0%
생강-엿 (○)	生姜の飴	97.0%	0.0%	
고객-여러분 (?)	顧客の皆さま	90.9%	3.0%	6.1%
시민-여러분 (?)	市民の皆さま	87.9%	0.0%	12.1%
삼백-예순날 (○)	年がら年中	69.7%	12.1%	18.2%
백-여우 (○)	白狐, 邪悪な女	66.7%	33.3%	0.0%
산-열매 (○)	山野に自然に生えて育つ木になる実	63.6%	36.4%	0.0%
강-여울 (○)	川瀬	51.5%	48.5%	
단봉-약대 (○)	ヒトコブラクダ	27.3%	72.7%	
쌍봉-약대 (○)	フタコブラクダ	24.2%	75.8%	

現代朝鮮語における〈n挿入〉の実現実態について(2) (辻野裕紀) (33)

학-여울역 <sup>(14)</sup> (?)	ハンニョウル駅	21.2%	78.8%	0.0%
흥-여새 (×)	ヒレンジャク	9.1%	90.9%	
황-여새 (×)	キレンジャク	9.1%	90.9%	
행-여 (×)	ひよっとすと	3.0%	97.0%	

上の表から、後行要素の頭音が /y/ の場合、概ね〈n挿入〉が起きやすいことを確認しうる。

中には, 단봉-약대 (27.3%), 쌍봉-약대 (24.2%), 학-여울역 (21.2%), 흥-여새 (9.1%), 황-여새 (9.1%), 행-여 (3.0%) のように, 〈n挿入〉実現率が低いものも存在するが, これらはすべて先行要素の末音が閉鎖音 /g/ ないし /ŋ/ という特徴を持っている。행-여については, 後行要素が自立的な要素ではないという点で形態論的条件にも違背しており, 〈n挿入〉がほとんど起きないのは首肯しうる。

3.1.2. 後行要素の頭音が /i/ でかつ後行要素の長さが1音節の〈漢字語+固有語〉

後行要素の頭音が /i/ でかつ後行要素の長さが1音節の〈漢字語+固有語〉の混種語の具体語例とその〈n挿入〉実現率等は次の通りである：

②後行要素の頭音が /i/ でかつ後行要素の長さが1音節の  
〈漢字語+固有語〉(全17語)：〈n挿入〉平均実現率82.0%

語	日本語訳	n	終	休
단풍-잎 (○)	紅葉の葉	100.0%	0.0%	
별-일 (○)	別事	100.0%	0.0%	0.0%
은행-잎 (○)	銀杏の葉	100.0%	0.0%	
사상-일 (○)	私事	97.0%	3.0%	0.0%
세상-일 (○)	世事	97.0%	3.0%	
여간-일 (?)	並大抵のこと	97.0%	0.0%	3.0%
간-잎 (○)	肝臓の左葉と右葉の中の片方	93.9%	6.1%	0.0%
개인-일 (?)	個人のこと	93.9%	6.1%	0.0%
순-잎 (○)	若葉	93.9%	6.1%	0.0%

연-잎 (○)	蓮の葉	93.9%	6.1%	0.0%
보통-일 (?)	普通のこと	78.8%	21.2%	
붓-일 (○)	灌溉の仕事	78.8%	21.2%	0.0%
잡-일 (○)	雑事	69.7%	30.3%	0.0%
반-일 (○)	仕事の半分	63.6%	36.4%	0.0%
칠-일 (○)	漆を塗る仕事	63.6%	36.4%	0.0%
건축-일 (?)	建築の仕事	60.6%	39.4%	0.0%
공-일 (○)	ただ働き	12.1%	87.9%	

上の表から、後行要素の頭音が /i/ でかつ後行要素の長さが 1 音節の場合、〈n 挿入〉が起きやすいことを確認しうる。

唯一공-일 (12.1%) は一見案に相違する結果だが、これは先行要素の末音 /ŋ/ が影響しているものと思われる。一方で、同様に先行要素の末音 /ŋ/ である 단풍-잎, 은행-잎 の〈n 挿入〉実現率は 100.0% だが、これらの発音は語彙化したものである可能性が高い。

### 3.1.3. 後行要素の頭音が /i/ でかつ後行要素の長さが 2 音節以上の〈漢字語+固有語〉

後行要素の頭音が /i/ でかつ後行要素の長さが 2 音節以上の〈漢字語+固有語〉の混種語の具体語例とその〈n 挿入〉実現率等は次の通りである：

#### ③後行要素の頭音が /i/ でかつ後行要素の長さが 2 音節以上の〈漢字語+固有語〉(全24語)：〈n 挿入〉平均実現率 11.1%

語	日本語訳	n	終	休
귀신-이야기 (?)	おばけの話	69.7%	27.3%	3.0%
부족-일꾼 (○)	冠婚葬祭のときに手伝ってあげる人	45.5%	51.5%	3.0%
본-이름 (○)	本名	36.4%	63.6%	0.0%
산-이삭사초 (○)	ヤラメスゲ	18.2%	81.8%	0.0%
반-잇소리 (○)	半歯音	15.2%	84.8%	0.0%
원-이름 (○)	ももとの名前	15.2%	84.8%	0.0%

現代朝鮮語における〈n挿入〉の実現実態について(2) (辻野裕紀) (35)

농-익다 (○)	爛熟する	12.1%	87.9%	
색-이름 (×)	色の名前	9.1%	90.9%	0.0%
금-이삭 (○)	他の人が既に金を掘っていった 所で得た金	6.1%	93.9%	0.0%
당신-이름 (?)	あなたの名前	6.1%	90.9%	3.0%
비단-잉어 <sup>(16)</sup> (○)	錦鯉	6.1%	93.9%	0.0%
산-이마 (○)	山の頂	6.1%	93.9%	0.0%
음-이름 (○)	音の名前	6.1%	93.9%	0.0%
삼-이웃 (○)	向こう三軒両隣	3.0%	97.0%	0.0%
신-익다 (○)	経験豊富で何にでも精通している	3.0%	97.0%	0.0%
장식-일꾼 (○)	器や家具の飾りを作る人	3.0%	97.0%	0.0%
전문-일꾼 (×)	深い知識と技術を持っている人	3.0%	97.0%	0.0%
칠-인두 (×)	漆を塗るこての形をした道具	3.0%	97.0%	0.0%
곡-이름 (×)	曲の名前	0.0%	100.0%	0.0%
난간-이마 (○)	頭の天辺が広く突き出たひたい	0.0%	100.0%	0.0%
본-임자 (○)	もともとの持ち主	0.0%	100.0%	0.0%
상관-있다 (×)	関係ある	0.0%	100.0%	0.0%
순-입금 (×)	舜を王として敬って謂う語	0.0%	97.0%	3.0%
연-이어 (○)	相次いで	0.0%	100.0%	0.0%

上の表から、後行要素の頭音が /i/ でかつ後行要素の長さが 2 音節以上の場合、〈n挿入〉が起きにくいことを確認する。

귀신-이야기 (69.7%) は例外的だが、これは先行要素の末音が /n/ であることに加え、後行要素が 이야기 であることに因るものと思われる。이야기는、/i/ で始まりかつその長さが 2 音節以上の固有語の中では語彙的に〈n挿入〉を相対的に起こしやすい要素である。<sup>(17)</sup>

### 3.2. 外来語＋固有語

〈外来語＋固有語〉の混種語については, 이솝-이야기 《イソップ物語》の 1 語を調査した。

〈外来語＋固有語〉において、〈n挿入〉の実現如何に最も大きく関わっていると考えるのは、固有語合成語のそれと同じく、「後行要素の

頭音」と「後行要素の長さ」であろう。語例が1例しかないためにはっきりとしたことは言えないが, 이슴-이야기의〈n挿入〉実現率が18.2%と低いのは, 後行要素が/i/で始まりかつその長さが2音節以上だからだと思われる。先行要素の末音が閉鎖音/b/であることも聊か効いているのだろう。ただ, 〈n挿入〉実現率が低いといっても, 0.0%ないしそれに近い数字ほどに低くはなっていないのは, 後行要素が이야기であることに因ると考えうる<sup>(18)</sup>。

(外来語+固有語)(全1語):〈n挿入〉実現率18.2%

語	日本語訳	n	終	休
이슴-이야기 (×)	イソップ物語	18.2%	81.8%	0.0%

### 3.3. 固有語+漢字語

〈固有語+漢字語〉の混種語については, 全50語を調査した。

〈固有語+漢字語〉において, 〈n挿入〉の実現如何に最も大きく関わっていると考えるのは, 漢字語合成語のそれと同じく, 「後行要素の頭音」である。後行要素の頭音が/y/の場合〈n挿入〉は起きやすく, 後行要素の頭音が/i/の場合〈n挿入〉は基本的に起きない:

①後行要素の頭音が/y/の場合→〈n挿入〉が起きやすい

②後行要素の頭音が/i/の場合→〈n挿入〉が基本的に起きない

以下, ①②各々について, 具体語例を挙げつつ, 確認および検討をしていこう。

#### 3.3.1. 後行要素の頭音が/y/の〈固有語+漢字語〉

後行要素の頭音が/y/の〈固有語+漢字語〉の混種語の具体語例とその〈n挿入〉実現率等は次の通りである:

現代朝鮮語における〈n挿入〉の実現実態について(2) (辻野裕紀) (37)

①後行要素の頭音が<sup>h</sup>/y/の〈固有語+漢字語〉(全42語):  
 〈n挿入〉平均実現率82.6%

語	日本語訳	n	終	休
기침-약 (○)	咳止め	100.0%	0.0%	0.0%
다음-역 (?)	次の駅	100.0%	0.0%	0.0%
물-약 (○)	水薬	100.0%	0.0%	0.0%
발-야구 (○)	キックベース	100.0%	0.0%	0.0%
밤-여행 (?)	夜の旅行	100.0%	0.0%	0.0%
서울-역 (?)	ソウル駅	100.0%	0.0%	0.0%
알-약 (○)	丸薬	100.0%	0.0%	0.0%
어른-용 (?)	大人用	100.0%	0.0%	0.0%
자반-연어 (○)	塩鮭	100.0%	0.0%	0.0%
쭈-약 (○)	しみよけの防虫剤	100.0%	0.0%	0.0%
허파숨-양 (○)	肺活量	100.0%	0.0%	0.0%
간-유리 (○)	不透明なガラス	97.0%	3.0%	0.0%
구름-양 (○)	雲の量	97.0%	3.0%	0.0%
그림-엽서 (○)	絵葉書	97.0%	3.0%	0.0%
된-옥 (○)	ひどい悪口	97.0%	3.0%	0.0%
뜬-용 (○)	浮龍	97.0%	3.0%	0.0%
바깥-양반 (○)	男の主人	97.0%	3.0%	0.0%
빨간-약 (○)	赤チン	97.0%	3.0%	0.0%
콧물-약 (?)	鼻水の薬	97.0%	3.0%	0.0%
설-연휴 (?)	正月の連休	93.9%	6.1%	0.0%
밤-열차 (?)	夜の列車	90.9%	9.1%	0.0%
아침-연기 (?)	朝飯をたく時のけむり	87.9%	12.1%	0.0%
젖빛-유리 (×)	曇りガラス	87.9%	12.1%	0.0%
낮-여행 (?)	昼の旅行	84.8%	15.2%	0.0%
반달-연 (○)	上部に半月模様の色紙をはった凧	84.8%	15.2%	0.0%
발-연 (○)	足をつけた凧	84.8%	15.2%	0.0%
우리집-양반 (?)	うちの主人	84.8%	3.0%	12.1%
눈-요기 (○)	目の保養	81.8%	18.2%	0.0%
굴-양식 (?)	牡蠣の養殖	78.8%	21.2%	0.0%
길-양식 (○)	旅の食糧	78.8%	21.2%	0.0%

맞-욕 (○)	面と向かって言い合う悪口	75.8%	24.2%	0.0%
복-요리 (○)	ふぐ料理	75.8%	21.2%	3.0%
숫-양 (○)	雄羊	75.8%	24.2%	0.0%
우리말-연구사 (?)	朝鮮語研究史	63.6%	3.0%	33.3%
낮-열차 (?)	昼の列車	60.6%	39.4%	0.0%
덧-양말 (○)	靴下を重ねて履くときの上に履く靴下	54.5%	45.5%	0.0%
안-양반 (○)	女主人に対する尊敬語	54.5%	45.5%	0.0%
겉-욕심 (○)	身の程に合わない欲	51.5%	48.5%	0.0%
몽당-연필 (○)	秃びた鉛筆	45.5%	54.5%	
눈-약 (○)	目の薬	42.4%	57.6%	0.0%
꽃-양배추 (○)	カリフラワー	39.4%	51.5%	9.1%
맞-연귀 <sup>(19)</sup> (○)	建具などの角を組み合わせて作る方法のひとつ	15.2%	84.8%	0.0%

上の表から、後行要素の頭音が /y/ の場合、〈n 挿入〉が起きやすいことを確認しうる。

몽당-연필 (45.5%), 눈-약 (42.4%), 꽃-양배추 (39.4%), 맞-연귀 (15.2%) は例外的である。

まず、몽당-연필については先行要素の末音が /ŋ/ であることが影響しているものと思われる。

눈-약は、〈1音節+1音節〉という構造をしており、かつ先行要素の末音が /n/ であることが関与している可能性がある。<sup>(20)</sup>

꽃-양배추, 맞-연귀については、先行要素が閉鎖音であることに加えて、なじみ度が大きな要因になっているものと思われる。<sup>(21)</sup> 辻野裕紀 (2014b: 7-8) で論じたように、固有語合成語などではなじみ度が低いと〈n 挿入〉が起きにくい、混種語 (固有語+漢字語) でも同じことが言えそうである。

また、ややアド・ホックな指摘になってしまうが、밤-여행 (100.0%) と 낮-열차 (90.9%), 낮-여행 (84.8%) と 낮-열차 (60.6%) を各々比べると、それぞれ後者よりも前者のほうが〈n 挿入〉がより起きやすい。これは、漢字語合成語や漢字語人名で〈1音節+2音節〉という構造に

現代朝鮮語における〈n挿入〉の実現実態について(2) (辻野裕紀) (39)

において後行要素の第1音節の音節構造が〈n挿入〉実現如何に影響を与える現象とよく似ていて興味深い。낮-여행より밤-여행, 낮-열차より밤-열차のほうがより〈n挿入〉が起きやすいのは、先行要素の末音（共鳴音か閉鎖音か）に因る。

### 3.3.2. 後行要素の頭音が /i/ の〈固有語+漢字語〉

後行要素の頭音が /i/ の〈固有語+漢字語〉の混種語の具体語例とその〈n挿入〉実現率等は次の通りである：

②後行要素の頭音が /i/ の〈固有語+漢字語〉(全8語)：  
〈n挿入〉平均実現率10.6%

語	日本語訳	n	終	休
갑-이별 (○)	恋人同士の突然の別れ	33.3%	66.7%	0.0%
둘-이상 (?)	ふたつ以上	27.3%	69.7%	3.0%
마을-이장님 (?)	村の里長	18.2%	54.5%	27.3%
눈-인사 (×)	目礼	3.0%	97.0%	0.0%
첫-인사 (×)	初対面のあいさつ	3.0%	97.0%	0.0%
곰-인형 (?)	くまのぬいぐるみ	0.0%	100.0%	0.0%
그림-일기 (×)	絵日記	0.0%	100.0%	0.0%
첫-인상 (×)	第一印象	0.0%	100.0%	0.0%

上の表から、後行要素の頭音が /i/ の場合、〈n挿入〉が基本的に起きないことを確認しうる。

갑-이별 (33.3%), 둘-이상 (27.3%), 마을-이장님 (18.2%) は〈n挿入〉実現率がやや相対的に高く現れたが, 갑-이별, 마을-이장님については漢字音の影響が考えられる(離, 里)。

### 3.4. 外来語+漢字語

〈外来語+漢字語〉の混種語については、全10語を調査した。

〈外来語+漢字語〉では〈n挿入〉平均実現率が非常に高く、〈n挿入〉が起きやすいと言える。調査語彙の後行要素がすべて /y/ で始まっている



るため、後行要素の頭音と〈n挿入〉の相関性について論じることは厳密にはできないが、辻野裕紀(2014b)および本稿のここまでの議論に鑑みると、〈n挿入〉実現率の高さは後行要素の頭音が /y/ であることが影響を及ぼしているものと考えうる。

〈外来語+漢字語〉(全10語) : 〈n挿入〉平均実現率95.8%

語	日本語訳	n	終	休
덴진-역(?)	天神駅	100.0%	0.0%	0.0%
모빌-유(×)	モービル油	100.0%	0.0%	0.0%
바벡-역(?)	ヴァヴァン駅	100.0%	0.0%	0.0%
포르트로알-역(?)	ポート・ロワイヤル駅	100.0%	0.0%	0.0%
류머티즘-열(×)	リウマチ熱	97.0%	0.0%	3.0%
뉴욕-여행(?)	ニューヨーク旅行	93.9%	3.0%	3.0%
로셀-염(×)	ロッシェル塩	93.9%	3.0%	3.0%
베트남-여행(?)	ベトナム旅行	93.9%	3.0%	3.0%
램-양모(×)	ラム羊毛	90.9%	9.1%	0.0%
유럽-연구(?)	ヨーロッパ研究	87.9%	12.1%	0.0%

### 3.5. 固有語+外来語

〈固有語+外来語〉の混種語については、소금-요구르트《塩ヨーグルト》と돛-요트《帆ヨット》の2語を調査した。

語例の双方とも〈n挿入〉実現率が8割を超えており、〈n挿入〉が起きやすいと言える。〈外来語+漢字語〉と同じく、調査語彙の後行要素がすべて /y/ で始まっており、おそらくこのことが〈n挿入〉実現率の高さの要因である。

〈固有語+外来語〉(全2語) : 〈n挿入〉平均実現率83.3%

語	日本語訳	n	終	休
소금-요구르트(?)	塩ヨーグルト	84.8%	0.0%	15.2%
돛-요트(?)	帆ヨット	81.8%	18.2%	0.0%

### 3.6. 漢字語+外来語

〈漢字語+外来語〉の混種語については、全47語を調査した。

〈漢字語+外来語〉において、〈n挿入〉の実現如何に最も大きく関わっていると考えるのは、外来語合成語のそれと同じく、「後行要素の頭音」である。後行要素の頭音が /y/ の場合〈n挿入〉は起きやすく、後行要素の頭音が /i/ の場合〈n挿入〉はほとんど起きない：

①後行要素の頭音が /y/ の場合→〈n挿入〉が起きやすい

②後行要素の頭音が /i/ の場合→〈n挿入〉がほとんど起きない

以下、①②各々について、具体語例を挙げつつ、確認および検討をしていこう。

#### 3.6.1. 後行要素の頭音が /y/ の〈漢字語+外来語〉

後行要素の頭音が /y/ の〈漢字語+外来語〉の混種語の具体語例とその〈n挿入〉実現率等は次の通りである：

①後行要素の頭音が /y/ の〈漢字語+外来語〉(全27語)：  
〈n挿入〉平均実現率89.4%

語	日本語訳	n	終	休
골-예수 (×)	頑固なキリスト教徒	100.0%	0.0%	0.0%
3-야드 (?)	3 ヤード	100.0%	0.0%	0.0%
3-유로 (?)	3 ユーロ	100.0%	0.0%	0.0%
1-야드 (?)	1 ヤード	100.0%	0.0%	0.0%
1-유로 (?)	1 ユーロ	100.0%	0.0%	0.0%
1000-야드 (?)	1000ヤード	100.0%	0.0%	0.0%
8-야드 (?)	8 ヤード	100.0%	0.0%	0.0%
8-유로 (?)	8 ユーロ	100.0%	0.0%	0.0%
1000-유로 (?)	1000ユーロ	97.0%	3.0%	0.0%
남-예멘 (×)	南イエメン	93.9%	0.0%	6.1%
남-요르단 (?)	南ヨルダン	93.9%	0.0%	6.1%

남-유다왕국(×)	南ユダ王国	93.9%	0.0%	6.1%
반-유대주의(×)	反ユダヤ主義	93.9%	0.0%	6.1%
10-유로(?)	10ユーロ	93.9%	6.1%	0.0%
100-유로(?)	100ユーロ	90.9%	9.1%	0.0%
불법-유턴(?)	不法Uターン	90.9%	6.1%	3.0%
10-야드(?)	10ヤード	90.9%	9.1%	0.0%
6-야드(?)	6ヤード	90.9%	9.1%	0.0%
6-유로(?)	6ユーロ	90.9%	9.1%	0.0%
남-유럽(×)	南ヨーロッパ	84.8%	15.2%	0.0%
100-야드(?)	100ヤード	84.8%	15.2%	0.0%
한국-야쿠르트(?)	韓国ヤクルト	81.8%	9.1%	9.1%
동-유럽(×)	東ヨーロッパ	78.8%	21.2%	
북-요르단(?)	北ヨルダン	72.7%	27.3%	0.0%
삼-요오드화질소(?)	三ヨウ化窒素	72.7%	3.0%	24.2%
북-유럽(×)	北ヨーロッパ	63.6%	36.4%	0.0%
북-예멘(×)	北イエメン	54.5%	42.4%	3.0%

上の表から分かる通り, 後行要素の頭音が /y/ の場合, 一体に 〈n 挿入〉が起きやすい。特に例外と言うべき語例は見当たらない。북-유럽(63.6%), 북-예멘(54.5%) は他の語に比べれば 〈n 挿入〉 実現率がやや低い, これは先行要素の末音が /g/ であることに因るとされる。

### 3.6.2. 後行要素の頭音が /i/ の 〈漢字語+外来語〉

後行要素の頭音が /i/ の 〈漢字語+外来語〉 の混種語の具体語例とその 〈n 挿入〉 実現率等は次の通りである:

②後行要素の頭音が /i/ の 〈漢字語+外来語〉 (全20語):  
(n 挿入) 平均実現率5.8%

語	日本語訳	n	終	休
1-이닝(?)	1 イニング	57.6%	42.4%	0.0%
3-이닝(?)	3 イニング	18.2%	81.8%	0.0%
8-이닝(?)	8 イニング	18.2%	81.8%	0.0%

現代朝鮮語における〈n挿入〉の実現実態について(2) (辻野裕紀) (43)

남-이란 (?)	南イラン	12.1%	84.8%	3.0%
범-이슬람주의 (×)	汎イスラム主義	6.1%	90.9%	3.0%
6-이닝 (?)	6イニング	3.0%	97.0%	0.0%
고급-이어폰 (?)	高級イヤホン	0.0%	100.0%	0.0%
남-이탈리아 (?)	南イタリア	0.0%	100.0%	0.0%
농협-인터넷뱅킹 (?)	農協インターネットバン キング	0.0%	75.8%	24.2%
동-이탈리아 (?)	東イタリア	0.0%	100.0%	
미국-인디언 (?)	アメリカインディアン	0.0%	100.0%	0.0%
북-이란 (?)	北イラン	0.0%	100.0%	0.0%
북-이스라엘 (?)	北イスラエル	0.0%	100.0%	0.0%
북-이탈리아 (?)	北イタリア	0.0%	100.0%	0.0%
양-이온 (×)	プラスイオン	0.0%	100.0%	
연예인-인터뷰 (?)	芸能人インタビュー	0.0%	60.6%	39.4%
음-이온 (×)	マイナスイオン	0.0%	100.0%	0.0%
청년-인턴사업 (?)	青年インターン事業	0.0%	97.0%	3.0%
청-잉크 (?)	青インク	0.0%	100.0%	
흑-잉크 (?)	黒インク	0.0%	100.0%	0.0%

上の表から分かる通り、後行要素の頭音が /l/ の場合、〈n挿入〉はほとんど起きない。

1-이닝, 3-이닝, 8-이닝のように末音が共鳴音の漢数詞に이닝がついたものについては、〈n挿入〉が生じるインフォーマントもあり(特に1-이닝の〈n挿入〉実現率は高い)、やや例外的である。

#### 4. いわゆる「語+レベルの複合語」

影山太郎 (2010: 9-12) が「語+レベルの複合語」と見做しているタイプの複合語についても調査を試みた。<sup>(23)</sup> 調査対象としたものは次の8語であり、以下に文全体を併せて提示する：

- <sup>(24)</sup>쿠폰 이용 시에는 1000원 할인됩니다. 《クーポン利用時には1000ウォン割引になります。》
- 김 여사는 미국 영주 후 갑자기 돌아가셨다. 《金女史は米国永住後、急に亡くなった。》
- 점쟁이가 지진 예언 후 실제로 큰 지진이 일어나서 깜짝 놀랐다. 《占い師が地震予言後、実際に大きな地震が起こって驚いた。》
- 인천 이륙 시에 비행기 안에서 그 사건이 일어났다. 《仁川離陸時に飛行機の中でその事件が起こった。》
- 주식 양도 시에는 다음과 같은 서류가 꼭 필요합니다. 《株式譲渡時には次のような書類が必ず必要です。》
- 시험 연장 시에는 방송 시간이 변경될 수도 있습니다. 《試合延長時には、放送時間が変更されることもあります。》
- 입장권 예약 시에는 주민등록번호를 입력하셔야 합니다. 《入場券予約時には、住民登録番号を入力なさらなければなりません。》
- 논문 요약 시에는 논문의 핵심적인 부분을 잘 간추려서 정리해야 합니다. 《論文要約時には論文の核心的な部分を掻い摘んで整理しなければなりません。》

いわゆる「語+レベルの複合語」においても、〈n 挿入〉の実現の仕方は、他の漢字語合成語の場合と類似している。すなわち、「後行要素の頭音」が〈n 挿入〉の実現如何に最も大きく関わっており、後行要素が /y/ で始まる場合には〈n 挿入〉が起きやすく、後行要素が /i/ で始まる場合には〈n 挿入〉が起きにくい：

①後行要素の頭音が /y/ の語+レベルの複合語 (全6語) :  
〈n 挿入〉平均実現率66.2%

語	日本語訳	n	終	休
주식 양도	株式譲渡	75.8%	12.1%	12.1%
지진 예언	地震予言	75.8%	0.0%	24.2%

논문 요약	論文要約	63.6%	0.0%	36.4%
미국 영주	米国永住	63.6%	12.1%	24.2%
시험 연장	試合延長	60.6%	18.2%	21.2%
입장권 예약	入場券予約	57.6%	0.0%	42.4%

②後行要素の頭音が /i/ の語<sup>+</sup>レベルの複合語 (全2語) :  
 〈n挿入〉平均実現率27.3%

語	日本語訳	n	終	休
쿠폰 이용	クーポン利用	45.5%	24.2%	30.3%
인천 이륙	仁川離陸	9.1%	39.4%	51.5%

なお、後行要素が /i/ で始まる 쿠폰 이용の場合に半数近くのインフォーマントで〈n挿入〉が起きた点がやや特異であり、また、語を問わず全体として休止を志向するインフォーマントも少なからずいた点が辻野裕紀 (2014b: 22-36) で扱った他の漢字語合成語とは異なる。

しかしながら、日本語の語<sup>+</sup>レベルの複合語と異なり、朝鮮語の場合には必ず休止を伴わなければならないというわけではなく、他の漢字語合成語と峻別しうる決定的な違いが見られない。影山太郎 (2010) が行なっているように、「必ず短い休止を伴う」という音声の特徴を以て語<sup>+</sup>レベルの複合語を他の複合語と区別するのであれば、茲に挙げた8つの語例は語<sup>+</sup>レベルの複合語とは言えないことになる。影山太郎 (2010) が扱っている「학생이 엘리베이터 사용 시에는」などといった例は、〈n挿入〉や終声の初声化などといった音韻的現象が抑々生じない環境のものであるために、休止が置かれているのかどうか分かりにくい、上の8つの語例の発音実態を勘案すると、果たして影山太郎 (2010) の挙げている例は本当に語<sup>+</sup>レベルの複合語なのか、延いては朝鮮語において、日本語に見られるような語<sup>+</sup>レベルの複合語というものが存在するのか再考の余地があるように思われる。

## 5. 句

調査した句は全175句である。

句には様々な類型があるが、本研究では、統辞論的観点から句を次のように分類した：

体言句：〈冠形語＋体言〉, 〈体言＋体言〉

用言句：〈副詞語＋用言〉, 〈絶対格主語<sup>(25)</sup>＋用言〉, 〈絶対格目的語＋用言〉,  
 〈対格目的語<sup>(26)</sup>＋用言〉, 〈主題目的語＋用言〉

以下、各々について見る。

## 5.1. 冠形語＋体言

〈冠形語＋体言〉については、全65句を調査した。うち、〈冠形詞＋体言〉が28句、〈用言冠形詞形＋体言〉が37句である。以下、各々に分けて見る。

## 5.1.1. 冠形詞＋体言

〈冠形詞＋体言〉という構造の体言句は、〈n挿入〉の実現如何に関し、合成語の場合と軌を一にする。すなわち、後行要素が固有語の場合は、後行要素の頭音が /y/ のもの、後行要素の頭音が /i/ でかつ後行要素の長さが1音節のものは総じて〈n挿入〉が起きやすく、後行要素の頭音が /i/ でかつ後行要素の長さが2音節以上のものは〈n挿入〉が起きにくい。また、後行要素が漢字語の場合は、後行要素の長さを問わず、後行要素の頭音が /y/ のものは〈n挿入〉が起きやすく、/i/ のものは基本的に起きない。具体例とその〈n挿入〉実現率等を各々挙げると次の通りである：

現代朝鮮語における〈n挿入〉の実現実態について(2) (辻野裕紀) (47)

①後行要素が固有語でかつその頭音が /y/ の〈冠形詞+体言〉(全4句) :  
〈n挿入〉平均実現率87.1%

句	日本語訳	n	終	休
무슨 영문	何のわけ	97.0%	0.0%	3.0%
그런 얘기	そんな話	84.8%	0.0%	15.2%
단 여섯 개	たった六個	84.8%	0.0%	15.2%
한 여섯 개	およそ六個	81.8%	0.0%	18.2%

②後行要素が1音節の固有語でかつその頭音が /i/ の〈冠形詞+体言〉(全5句) :  
〈n挿入〉平均実現率78.8%

句	日本語訳	n	終	休
모든 일	すべてのこと	100.0%	0.0%	0.0%
어떤 일	あること	100.0%	0.0%	0.0%
그까짓 일	それしきのこと	97.0%	3.0%	0.0%
한 잎	一枚の葉	97.0%	3.0%	0.0%
어떤 이	ある人	0.0%	100.0%	0.0%

③後行要素が2音節以上の固有語でかつその頭音が /i/ の  
〈冠形詞+体言〉(全5句) : 〈n挿入〉平均実現率27.3%

句	日本語訳	n	終	休
무슨 이야기	何の話	60.6%	0.0%	39.4%
그런 이야기	そんな話	54.5%	3.0%	42.4%
못 일꾼	諸々の労働者たち	15.2%	78.8%	6.1%
단 일곱 개	たった七個	3.0%	81.8%	15.2%
한 일곱 개	およそ七個	3.0%	84.8%	12.1%

④後行要素が漢字語でかつその頭音が /y/ の〈冠形詞+体言〉(全10句) :  
〈n挿入〉平均実現率76.4%

句	日本語訳	n	終	休
만 연령	満年齢	97.0%	0.0%	3.0%
만 육년	満六年	97.0%	0.0%	3.0%



한 육 년	およそ六年	93.9%	0.0%	6.1%
온갖 영역	あらゆる領域	87.9%	12.1%	0.0%
근 육 년	六年近く	81.8%	12.1%	6.1%
몇 여자들	諸々の女たち	78.8%	9.1%	12.1%
한 여배우	ある女優	75.8%	0.0%	24.2%
현 양복	古いスーツ	69.7%	30.3%	0.0%
어떤 여자	ある女	60.6%	0.0%	39.4%
약 육 년	約六年	21.2%	36.4%	42.4%

⑤後行要素が漢字語でかつその頭音が /i/ の〈冠形詞+体言〉(全4句):  
(n 挿入) 平均実現率1.5%

句	日本語訳	n	終	休
만 일 년	滿一年	6.1%	87.9%	6.1%
근 일 년	一年近く	0.0%	90.9%	9.1%
약 일 년	約一年	0.0%	81.8%	18.2%
한 일 년	およそ一年	0.0%	90.9%	9.1%

①については、例外的な振る舞いをするものがなく、特に説明は不要だと思われる。〈n 挿入〉ではなく、休止が実現したインフォーマントも一部いたが、終声の初声化が実現したインフォーマントはいなかった。

②についても、例外的なものはない。어떤 이において〈n 挿入〉が全く起きないのは、固有語合成語의 訃은-이などの場合と同じく、이의 統辭論的自立性が極めて低いことに起因するものであり、形態論的条件から説明可能である。어떤 이を除くと、②の句例における〈n 挿入〉平均実現率は98.5%となり、②の条件では〈n 挿入〉がほぼ確実に起きると言いうる。

③については、무슨 이야기と그런 이야기가例外的と言える。既に見たように、이야기는語彙的に〈n 挿入〉を引き起こしやすい要素であり、先行要素の末音が共鳴音の /m/ であることも相俟って、〈n 挿入〉実現率が高く現れている。休止実現率も高いが、終声の初声化が実現したインフォーマントはほとんどいなかった。몇 일꾼で〈n 挿入〉を起こすイン

現代朝鮮語における〈n挿入〉の実現実態について(2) (辻野裕紀) (49)

フォームントが複数いたのは、後行要素の일꾼が、〈n挿入〉を起こしやすい固有語1音節の일で始まっているためであろう。

④については、약육년が例外的である。統辞的關係が同一の만육년と比べると、〈n挿入〉実現率が約76%も乖離しているが、その原因は先行要素の末音が閉鎖音 /g/ であることに起因すると思われる。

⑤については、〈n挿入〉に関して例外的なものはないが、약일년의休止実現率が他の句に比べてやや高くなっているのが目につく。④の약육년でもそうだったが、先行要素が약の場合は、만や근, 한の場合に比べて相対的に区切って発音しようとする傾向があるようである。

### 5.1.2. 用言冠形詞形+体言

〈用言冠形詞形+体言〉という構造においても、合成語や〈冠形詞+体言〉の場合と〈n挿入〉実現様相は類似していると言えそうである。

すなわち、後行要素が固有語の場合は、後行要素の頭音が /y/ のもの、後行要素の頭音が /i/ がかつ後行要素の長さが1音節のものは総じて〈n挿入〉が起きやすく、後行要素の頭音が /i/ がかつ後行要素の長さが2音節以上のものは〈n挿入〉が起きにくい。また、後行要素が非固有語の場合は、後行要素の長さを問わず、後行要素の頭音が /y/ のものは〈n挿入〉が起きやすく、/i/ のものは起きにくい。以下、具体例とその〈n挿入〉実現率等を各々挙げる：

①後行要素が固有語でかつその頭音が /y/ の〈用言冠形詞形+体言〉(全7句)：  
〈n挿入〉平均実現率87.0%

句	日本語訳	n	終	休
긴 얘기	長い話	100.0%	0.0%	0.0%
아는 양으로	知っているかのように	100.0%	0.0%	0.0%
방해하지 않을 양으로	邪魔しないように	97.0%	0.0%	3.0%
큰 양푼	大きい真鍮製の鉢	93.9%	3.0%	3.0%
구운 양미리	焼いた玉筋魚	84.8%	0.0%	15.2%
작은 여드름	小さな面皰	81.8%	0.0%	18.2%

더운 여름	暑い夏	51.5%	0.0%	48.5%
-------	-----	-------	------	-------

②後行要素가 1 音節의 固有語でかつその頭音が /i/ の〈用言冠形詞形+体言〉  
(全 3 句) : 〈n 挿入〉 平均實現率 73.7%

句	日本語訳	n	終	休
드문 일	稀なこと	100.0%	0.0%	0.0%
본 일	見たこと	100.0%	0.0%	0.0%
큰 일	大きなこと	21.2%	75.8%	3.0%

③後行要素가 2 音節以上の 固有語でかつその頭音が /i/ の〈用言冠形詞形+体言〉  
(全 9 句) : 〈n 挿入〉 平均實現率 21.9%

句	日本語訳	n	終	休
긴 이야기	長い話	78.8%	18.2%	3.0%
동화 같은 이야기	童話のような話	39.4%	18.2%	42.4%
아름다운 잇꽃	美しい紅花	24.2%	0.0%	75.8%
귀여운 익살꾸러기	かわいのおどけ者	12.1%	0.0%	87.9%
대나무로 된 이쭈시개	竹でできた爪楊枝	9.1%	0.0%	90.9%
맛있는 이밥	おいしい米飯	9.1%	0.0%	90.9%
맛있는 입쌀	おいしい白米	9.1%	0.0%	90.9%
힘든 이승	大変なこの世	9.1%	87.9%	3.0%
큰 이무기	大きな蟒蛇	6.1%	90.9%	3.0%

④後行要素가 非固有語でかつその頭音が /y/ 의 〈用言冠形詞形+体言〉(全 10 句) :  
(n 挿入) 平均實現率 43.0%

句	日本語訳	n	終	休
갈 예정	行く予定	100.0%	0.0%	0.0%
쓴 약	苦い薬	100.0%	0.0%	0.0%
나온 예문	出てきた例文	87.9%	0.0%	12.1%
키가 큰 요시다 씨	背が高い吉田さん	39.4%	0.0%	60.6%
맛있는 양파	おいしい玉葱	27.3%	0.0%	72.7%
유명한 여가수	有名な女性歌手	21.2%	0.0%	78.8%

아름다운 요들	美しいヨーデル	18.2%	0.0%	81.8%
귀여운 요크셔테리어	かわいいヨークシャテリア	15.2%	0.0%	84.8%
서 있는 여자분	立っている女の方	12.1%	0.0%	87.9%
예쁜 요람	かわいい揺りかご	9.1%	0.0%	90.9%

⑤後行要素が非固有語でかつその頭音が /i/ の〈用言冠形詞形+体言〉(全8句) :  
〈n挿入〉平均実現率13.3%

句	日本語訳	n	終	休
없을 이치다	ないのが道理である	48.5%	48.5%	3.0%
살아 있는 이상	生きている以上	33.3%	3.0%	63.6%
고리타분한 이데올로기	古臭いイデオロギー	12.1%	0.0%	87.9%
재미있는 인터뷰	面白いインタビュー	9.1%	0.0%	90.9%
높은 이상	高い理想	3.0%	90.9%	6.1%
넓은 인도	広いインド	0.0%	93.9%	6.1%
빠른 인터넷	速いインターネット	0.0%	100.0%	0.0%
키가 큰 이토 씨	背が高い伊藤さん	0.0%	66.7%	33.3%

①については、더운 여름의〈n挿入〉実現率の低さが目立つが、終声の初声化が起きることはなく、〈n挿入〉が実現しなかったインフォーマントはすべて明瞭な休止を置いて発音していた。〈n挿入〉と休止の違いには、発話速度の差異等が関わっているように思われ、茲では終声の初声化が起きないという言語事実がまず重要である。

구운 양미리, 작은 여드름でも休止を志向するインフォーマントが複数いたが、これは句全体の長さに関係があろう。句全体の長さが長くなるときには、休止を置いて発音しようとする傾向があるように見受けられる。なお、〈冠形詞形+양으로〉も句全体の長さは長いが、これは固定化された文法的な形であり、語彙化した発音である可能性が高い。

②については、큰 일이問題となる。ここで扱う큰 일은《大きなこと》という意味であり、《重要な儀式》や《たいへんなこと》という意の複合語큰 일とは異なるものである。辻野裕紀(2014b: 13)で論じたように、複合語の큰 일でも〈n挿入〉が起きにくかったが、句の큰 일でも突出し

て〈n挿入〉実現率が低くなっている。큰+일という組合せは、合成語か句かを問わず、語彙的に〈n挿入〉が起きにくいと言える。

③については、긴 이야기와 동화 같은 이야기가問題となる。これらは共に後行要素が 이야기であり、茲でも 이야기の〈n挿入〉の起こしやすさが窺える。

③の他の句については押し並べて〈n挿入〉が起きにくい、終声の初声化を志向する句と休止を志向する句とに分かれる。これは①と同じく、句全体の長さが関与している。귀여운 익살꾸러기, 대나무로 된 이쭉시개などのように句全体の長さが長いものは休止を志向し, 힘든 이승, 큰 이무기のように句全体の長さが短いものは終声の初声化を志向する傾向がある。

④については、一目するにやや例外が多いように見えるが、まず着目すべきは、終声の初声化が徹底して起きないことである。〈n挿入〉実現率が低いものは、その分、休止が志向されている。これも、句全体の長さが関わっている。갈 예정, 쓴 약などのように句全体の長さが短いものは〈n挿入〉が極めて起きやすいが, 아름다운 요들, 귀여운 요크셔테리어, 서 있는 여자 분などのように句全体が長いものは休止実現率が高く現れている。예쁜 요람については例外と言うほかないが、全体的な傾向として句の長さが関与していることは間違いないだろう。偶々茲で扱った句が長いものが多かったために、全体の〈n挿入〉平均実現率が低めに現れる結果となった。

⑤については、없을 이치다, 살아 있는 이상のように, -(으)ㄴ 이치다《…するのが道理である》, -는 이상《…する以上, …するからには》といった固定化された表現では、〈n挿入〉実現率が相対的に高くなっている。

⑤の他の句では〈n挿入〉は概して起きにくい、終声の初声化を志向する句と休止を志向する句とに分かれる。고리타분한 이데올로기, 재미있는 인터뷰와 높은 이상, 넓은 인도などを較べれば明らかなように、その分水嶺はやはり句全体の長さである。

## 5.2. 体言+体言

〈体言+体言〉については、全25句を調査した。

〈体言+体言〉という構造の体言句において、〈n挿入〉の実現如何に最も大きく関わっていると考えうるのは、「後行要素の頭音」である。後行要素の頭音が /y/ の場合〈n挿入〉は起きやすく、後行要素の頭音が /i/ の場合〈n挿入〉は起きにくい：<sup>(27)</sup>

①後行要素が /y/ で始まる 〈体言+体言〉 (全17句) : 〈n挿入〉平均実現率75.4%

句	日本語訳	n	終	休
길 옆	道の横	100.0%	0.0%	0.0%
문 옆	ドアの横	100.0%	0.0%	0.0%
길 양쪽	道の両側	97.0%	3.0%	0.0%
눈 옆	目の横	97.0%	3.0%	0.0%
꽃 옆	花の横	90.9%	9.1%	0.0%
섬 옆	島の横	90.9%	3.0%	6.1%
서울 양천구	ソウル陽川区	87.9%	0.0%	12.1%
서울 영등포구	ソウル永登浦区	87.9%	0.0%	12.1%
부산 영도구	釜山影島区	84.8%	0.0%	15.2%
서울 용산구	ソウル龍山区	84.8%	0.0%	15.2%
인천 영종도	仁川永宗島	81.8%	0.0%	18.2%
옷 옆	服の横	72.7%	27.3%	0.0%
입 옆	口の横	69.7%	27.3%	3.0%
책 옆	本の横	63.6%	33.3%	3.0%
강 옆	川の横	57.6%	42.4%	
내년 여름	来年の夏	12.1%	0.0%	87.9%
프랑스, 미국, 영국	フランス, アメリカ, イギリス	3.0%	0.0%	97.0%

②後行要素が /i/ で始まる 〈体言+体言〉 (全8句) : 〈n挿入〉平均実現率4.2%

句	日本語訳	n	終	休
동화 속 이야기	童話の中の話	21.2%	60.6%	18.2%
그날 이후	その日以降	6.1%	78.8%	15.2%

사건 이후	事件以降	3.0%	97.0%	0.0%
서울 이문동	ソウル里門洞	3.0%	63.6%	33.3%
내년 1월	来年の1月	0.0%	3.0%	97.0%
부산 이기대	釜山二妓台	0.0%	78.8%	21.2%
이날 이때	この日この時	0.0%	93.9%	6.1%
프랑스, 미국, 인도	フランス, アメリカ, インド	0.0%	0.0%	100.0%

①については, まず, 내년 여름과 프랑스, 미국, 영국의 〈n 挿入〉 実現率が低く現れているのが注目される。

내년 여름의 〈n 挿入〉 実現率がなぜ低いかについての理由は分明的でないが, 〈n 挿入〉 が実現しなかったインフォーマントはすべて休止を置いて発音しており, 終声の初声化が実現したインフォーマントはいなかった。先にも述べたように, 〈n 挿入〉 と休止の違いには, 発話速度の差異等が関わっているように思われる。

프랑스, 미국, 영국は他の句と統辭的構造が異なり(他の句は修飾構造であるのに対し, 프랑스, 미국, 영국は等位構造), ほとんどのインフォーマントが1語1語を区切って発音した。尤もこれは読み上げ式という方法に起因する可能性があり, 実際の談話(特に早い発音)では〈n 挿入〉が生じることも往々にしてありうるものと思料される。

서울 양천구などで休止が実現したインフォーマントが複数いたのは, 句の長さの問題に因るものだろう。

옷 옆, 입 옆, 책 옆, 강 옆の〈n 挿入〉 実現率が, 길 옆, 문 옆のそれに比べて低く現れているのは, 先行要素の末音が閉鎖音・/ŋ/か共鳴音かという違いに起因する(ただし, 꽃 옆は例外的)。

②については, 동화 속 이야기의 〈n 挿入〉 実現率が相対的に高いことが問題となろう。これは後行要素が 이야기であることが原因であると考える。

また, 내년 1월과 프랑스, 미국, 인도의休止実現率が突出して高いのも目につく。これも 내년 여름や프랑스, 미국, 영국と同じく発話速度が関与しているのかも知れない。ある母語話者によれば, 発話速度によ

現代朝鮮語における〈n挿入〉の実現実態について(2) (辻野裕紀) (55)  
 っては終声の初声化が起きることもよくあるとのことである。

### 5.3. 副詞語＋用言

〈副詞語＋用言〉については、全24句を調査した。

〈副詞語＋用言〉という構造の用言句において、〈n挿入〉の実現如何に最も大きく関わっていると考えうるのは、「後行要素の頭音」である。後行要素の頭音が /y/ の場合 〈n挿入〉は起きやすく、後行要素の頭音が /i/ の場合 〈n挿入〉は起きにくい：

①後行要素の頭音が /y/ の 〈副詞語＋用言〉 (全8句) :  
 〈n挿入〉平均実現率83.0%

句	日本語訳	n	終	休
안 열려	開かない	100.0%	0.0%	0.0%
안 열어	開けない	97.0%	3.0%	0.0%
못 열어	開けられない	97.0%	3.0%	0.0%
덜 예뻐	あまりかわいくない	90.9%	9.1%	0.0%
곧 열어라	すぐ開けろ	78.8%	6.1%	15.2%
제법 연하다	なかなか軟らかい	72.7%	6.1%	21.2%
무척 연하다	とても軟らかい	69.7%	12.1%	18.2%
꼭 열어 뒤야 돼	必ず開けておかないといけない	57.6%	0.0%	42.4%

②後行要素の頭音が /i/ の 〈副詞語＋用言〉 (全16句) :  
 〈n挿入〉平均実現率25.4%

句	日本語訳	n	終	休
안 입었어	着なかった	63.6%	36.4%	0.0%
안 읽어 봤어	読んでみなかった	54.5%	45.5%	0.0%
못 입었어	着られなかった	51.5%	48.5%	0.0%
덜 익었어	十分に焼けていない	48.5%	51.5%	0.0%
못 읽었어	読めなかった	45.5%	54.5%	0.0%
못 이었어	(頭に) 載せられなかった	42.4%	57.6%	0.0%
안 이었어	(頭に) 載せなかった	36.4%	63.6%	0.0%



잘 익혀서	よく火を通して	27.3%	66.7%	6.1%
곧 읽어라	すぐ読め	18.2%	72.7%	9.1%
꼭 익혀서	必ず火を通して	9.1%	45.5%	45.4%
제법 이쁘다	なかなかかわいい	6.1%	93.9%	0.0%
무척 이쁘다	とてもかわいい	3.0%	90.9%	6.1%
일찍 일어나는 새	早く起きる鳥	0.0%	97.0%	3.0%
잘 있어요?	元気ですか?	0.0%	97.0%	3.0%
가만 있자	さて、ちょっと待って	0.0%	100.0%	0.0%
며칠 있다	数日いてから	0.0%	100.0%	0.0%

①については、ほとんど例外がない。いずれの句の〈n挿入〉実現率も50%を超える。①の中でも、先行要素の末音が共鳴音のものがより〈n挿入〉が起きやすいのは、固有語合成語などでも見られた傾向と同じである。先行要素の末音が閉鎖音である ㅁ 열어의 〈n挿入〉実現率が極めて高いのは、ㅁと 열다の頻度が共に高く、[문너리]という発音が語彙化しているためだと考える。

②について、例外的な振る舞いをするのは、先行要素が所謂否定副詞の 안と ㅁ,そしてそれに準ずる ㅁの場合である。先行要素が 안, ㅁ, ㅁの場合、特にその後行要素가 입다, 읽다, 익다の場合、〈n挿入〉実現率が高く現れている。안, ㅁ, ㅁは一般的には自立語たる副詞に分類されるものの、用言との間に他の要素が基本的に入りえず、안 입어[안니버]<sup>(28)</sup>などといった発音が語彙化している話者も多いのであろう。後行要素가 이다の場合には〈n挿入〉実現率が聊か下がるが、これはなじみ度(あるいは使用頻度)と関連があるものと思われる。固有語合成語などでも観察されたように、なじみ度が低いと目されるものでは〈n挿入〉が起きにくい傾向がある。

また、①と②に跨るものとして興味深いのは、꼭 열어 뒤야 돼や 꼭 익혀서のように、先行要素가 ㅁの場合、休止を志向するインフォーマントが相対的に多かったことである。これは、ㅁの末音が閉鎖音 /g/ であることも効いているのだろうが、ㅁの「必ず」という意味的な特性も関わっているように思われる。休止を置くことで、ㅁを聴覚的に際立たせる

現代朝鮮語における〈n挿入〉の実現実態について(2) (辻野裕紀) (57)

(耳立たせる) ことができる。

#### 5.4. 絶対格主語+用言

〈絶対格主語+用言〉については、全26句を調査した。

〈絶対格主語+用言〉という構造の用言句において、〈n挿入〉の実現如何に最も大きく関わっていると考えるのは、「後行要素の頭音」である。後行要素の頭音が /y/ の場合 〈n挿入〉は起きやすく、後行要素の頭音が /i/ の場合 〈n挿入〉は起きにくい：

①後行要素の頭音が /y/ の〈絶対格主語+用言〉(全6句)：  
〈n挿入〉平均実現率80.8%

句	日本語訳	n	終	休
눈 예뻐	目かわいい	93.9%	6.1%	0.0%
얼굴 예뻐	顔かわいい	93.9%	3.0%	3.0%
감 열렸어	柿なった	81.8%	3.0%	15.2%
꽃 예뻐	花かわいい	75.8%	24.2%	0.0%
밤 여물었어	栗実った	69.7%	3.0%	27.3%
밭에는 감 여물어가는...	畑には柿実っていく...	69.7%	0.0%	30.3%

②後行要素の頭音が /i/ の〈絶対格主語+用言〉(全20句)：  
〈n挿入〉平均実現率4.2%

句	日本語訳	n	終	休
꽃 이뻐	花かわいい	39.4%	60.6%	0.0%
과일 익었어?	果物熟れた?	18.2%	78.8%	3.0%
눈 이뻐	目かわいい	12.1%	87.9%	0.0%
얼굴 이뻐	顔かわいい	9.1%	90.9%	0.0%
감 익었어?	柿熟れた?	6.1%	93.9%	0.0%
관禄 있는 사람	貫禄ある人	0.0%	100.0%	0.0%
고민 있는 사람	悩みある人	0.0%	100.0%	0.0%
꿈 이루어졌어	夢叶った	0.0%	84.8%	15.2%
말 있어요?	馬いますか?	0.0%	100.0%	0.0%

모임 있는 날	集まりある日	0.0%	100.0%	0.0%
빚 있는 남자	借金ある男	0.0%	100.0% <sup>(29)</sup>	0.0%
상식 있는 사람	常識ある人	0.0%	100.0%	0.0%
술 익자 체 장수 간다	酒が発酵するや節商人が行く	0.0%	100.0%	0.0%
스릴 있는 롤러코스터	スリルあるジェットコースター	0.0%	100.0%	0.0%
시간 있어요?	時間ありますか?	0.0%	100.0%	0.0%
실속 있는 생활	実のある生活	0.0%	100.0%	0.0%
애정 있는 사람	愛情ある人	0.0%	100.0%	
양심 있는 사람	良心ある人	0.0%	100.0%	0.0%
전쟁 일어났어	戦争起きた	0.0%	100.0%	
지진 일어났어	地震起きた	0.0%	72.7%	27.3%

①については、〈n 挿入〉に関して特に問題になるものはない。밤 여물었어, 발에는 감 여물어가는…で休止実現率が相対的に高くなっているのは、句の長さが影響しているのであろう。〈用言冠形詞形+体言〉などでも観察されたように、句の長さが長いときには休止を志向する傾向がある。

②については、後行要素が이尖叫の場合に〈n 挿入〉実現率が相対的に高くなっているのが目につくが、その理由は同義語の예尖叫との関係を考える。

지진 일어났어, 꿈 이루어졌어의休止実現率が高いのは、①의 밤 여물었어, 발에는 감 여물어가는…と同じく、句の長さが長いことに因る。

### 5.5. 絶対格目的語+用言

〈絶対格目的語+用言〉については、全23句を調査した。

〈絶対格目的語+用言〉という構造の用言句において、〈n 挿入〉の実現如何に最も大きく関わっていると考えるのは、「後行要素の頭音」である。後行要素の頭音が /y/ の場合〈n 挿入〉は起きやすく、後行要素の頭音が /i/ の場合〈n 挿入〉は起きにくい：

現代朝鮮語における〈n挿入〉の実現実態について(2) (辻野裕紀) (59)

①後行要素の頭音が /y/ の〈絶対格目的語+用言〉(全5句) :  
 〈n挿入〉平均実現率63.0%

句	日本語訳	n	終	休
문 열었어	ドア開けた	100.0%	0.0%	0.0%
옷깃 여미고...	襟正して...	90.9%	9.1%	0.0%
입 열자마자	口開くやいなや	60.6%	18.2%	21.2%
그 책 엮은 사람은...	その本編んだ人は...	57.6%	18.2%	24.2%
아들 딸 여의고...	息子娘亡くして...	6.1%	0.0%	93.9%

②後行要素の頭音が /i/ の〈絶対格目的語+用言〉(全18句) :  
 〈n挿入〉平均実現率10.8%

句	日本語訳	n	終	休
옷 입어	服着て	66.7%	33.3%	0.0%
빛 잃은...	輝き失った...	33.3%	<sup>(30)</sup> 66.7%	0.0%
길 잃었어	道迷った	27.3%	72.7%	0.0%
돈 잃었어	お金なくした	18.2%	81.8%	0.0%
말 잇지 못했어	ことば繋げられなかった	18.2%	81.8%	0.0%
우산 잊고 왔어	雨傘忘れてきた	9.1%	90.9%	0.0%
책 읽어	本読んで	6.1%	93.9%	0.0%
페북 읽었어	フェイスブック読んだ	6.1%	93.9%	0.0%
발목에 부상 입었어	足首に負傷負った	3.0%	97.0%	
빈혈 일으켜서 쓰러졌어	貧血起こして倒れた	3.0%	12.1%	84.8%
지갑 잃었어	財布なくした	3.0%	97.0%	0.0%
군복 입고 왔어	軍服着て来た	0.0%	100.0%	0.0%
글 읽는 소리	文章読む声	0.0%	100.0%	0.0%
밥 익혀 먹었어?	ごはん炊いて食べた?	0.0%	97.0%	3.0%
부채로 바람 일으켜 봐	扇で風起こしてみて	0.0%	93.9%	6.1%
새로운 사업 일으켰어	新たな事業興した	0.0%	90.9%	9.1%
이름 잊었어?	名前忘れた?	0.0%	100.0%	0.0%
짚으로 지붕 이었어	藁で屋根葺いた	0.0%	100.0%	

①については, 아들 딸 여의고의〈n挿入〉実現率が低く, 休止実現

率が突出して高いのが目立つ。これは여의다という語のなじみ度と関わっているものと思われる。여의다는頻度が高いと目される語ではなく、休止を置いて語の認識を容易にしようとするインフォーマントの意図が窺える。いずれのインフォーマントにおいても終声の初声化が全く起きなかったこともその傍証となろう。

입 열자마자や그 책 위은 사람은において〈n挿入〉実現率が相対的に低いのは、先行要素の末音が閉鎖音であることに起因すると思われる<sup>(31)</sup>。

②については、옷 입어의〈n挿入〉実現率の高さが注目される。옷と입어というコロケーションが極めて頻度が高いものであり、[은니버]という発音は語彙化したものであろう。

빈혈 일으켜서 쓰러졌어의休止実現率が高いのは、句の長さが長いことに因る。

#### 5.6. 対格目的語+用言

〈対格目的語+用言〉については、全6句を調査した。

〈対格目的語+用言〉という構造の場合は、分節音のはっきりとした傾向は見られず、句によって区々であった。注目すべきは、一体に休止を志向するインフォーマントが多かったことである。休止平均実現率は62.1%であり、半数を優に超えている：

〈対格目的語+用言〉(全6句)：〈n挿入〉平均実現率37.4%

句	日本語訳	n	終	休
치마를 입고...	スカートを履いて...	66.7%	0.0%	33.3%
예쁜 옷을 입고...	かわいい服を着て...	60.6%	0.0%	39.4%
모자를 잃었어요	帽子をなくしました	30.3%	0.0%	69.7%
가게를 열었어요	店を開けました	27.3%	0.0%	72.7%
문을 열었어요	ドアを開けました	24.2%	0.0%	75.8%
지갑을 잃었어요	財布をなくしました	15.2%	3.0%	81.8%

茲で断じうることは、〈対格目的語+用言〉という構造では、後行要素が /i/ で始まる場合であっても終声の初声化を起こすことはほとんど

ないということである。これは、後行要素の頭音が /i/ の場合に終声の初声化を起ししやすい〈絶対格目的語+用言〉の場合と比べて、対照的な結果である。〈n挿入〉も休止も境界を示すところにその機能があるのだとすれば、先行要素に助詞がつくと、そうでない場合に比べて、インフォーマントは単語の境界をより鮮明に意識して発音するのだと言える。

また、上の表を一瞥すると、用言が従属節(하고節)の場合に、〈n挿入〉が起きやすいようにも見える。しかし、該当する例の用言が共に입다であり、語彙的な要因である可能性もある(5.5.의 옷 입어でも〈n挿入〉実現率が高かったことを思い起こさされたい)。文構造によって〈n挿入〉実現如何が変わる可能性もあり、もしそうだとすると大変興味深い、本調査のデータだけで扱いきれる問題ではないので、向後の課題としたい。

### 5.7. 主題目的語+用言

〈主題目的語+用言〉については、全6句を調査した。

〈主題目的語+用言〉という構造の場合も、〈対格目的語+用言〉の場合と同じく、分節音のはっきりとした傾向は見られず、句によって区々であった。休止を志向するインフォーマントが多く、休止平均実現率は64.2%であった：

〈主題目的語+用言〉(全6句)：〈n挿入〉平均実現率35.9%

句	日本語訳	n	終	休
옷은 입었어요	服は着ました	69.7%	0.0%	30.3%
치마는 입었어요	スカートは履きました	48.5%	0.0%	51.5%
문은 열었어요	ドアは開けました	27.3%	0.0%	72.7%
가게는 열었어요	店は開けました	24.2%	0.0%	75.8%
지갑은 잃었어요	財布はなくしました	24.2%	0.0%	75.8%
모자는 잃었어요	帽子はなくしました	21.2%	0.0%	78.8%

〈対格目的語+用言〉の場合と同じく、〈主題目的語+用言〉という構

造では、後行要素が /i/ で始まる場合であっても終声の初声化を起こすことはない。助詞が介在すると、そうでない場合に比べて、インフォーマントは単語の境界をより鮮明に意識して発音することを再度確認しえた。

## 6. おわりに

以上、辻野裕紀(2014b)に引き続き、若年層ソウル方言話者を対象とした〈n挿入〉実現実態調査の結果の記述、分析を行ってきた。本稿では、特に外来語、混種語、いわゆる「語<sup>+</sup>レベルの複合語」、句について論じた。最後に、これまで述べてきたところを簡潔に確認し、擲筆したい。

まず、外来語においては、「後行要素の頭音」が〈n挿入〉実現如何に最も大きく関わっている。後行要素の頭音が /y/ の場合は〈n挿入〉が起きやすく、/i/ の場合は〈n挿入〉がほとんど起きない。また、「先行要素の末音」や「語構造(枝分かれ構造)」、「語の長さ」なども〈n挿入〉実現如何に関与している。

混種語においては、後行要素の語種が〈n挿入〉実現如何を統べる。つまり、後行要素が固有語であれば固有語合成語と、漢字語であれば漢字語合成語と、外来語であれば外来語合成語と類似した振る舞いをする。

いわゆる「語<sup>+</sup>レベルの複合語」でも、「後行要素の頭音」が〈n挿入〉実現如何に最も大きく関わっている。語を問わず休止を志向するインフォーマントが少なからずいた点が他の漢字語合成語との違いだが、必ず休止を伴わなければならない日本語の語<sup>+</sup>レベルの複合語とは性質が大きく異なり、影山太郎(2010)に疑義を呈した。

句においては、統辞論的観点から、〈冠形語+体言〉、〈体言+体言〉、〈副詞語+用言〉、〈絶対格主語+用言〉、〈絶対格目的語+用言〉、〈対格目的語+用言〉、〈主題目的語+用言〉の7種に分け、各々の分析を行なった。その結果、語の場合と異なり、発話速度や句の長さ、助詞の介在などの影響で休止実現率が高い句が散見されるものの、全体的な傾向としては、

「後行要素の頭音」が〈n挿入〉の実現如何に最も大きく関与するなど、語の場合とよく似た傾向が観察された。

以上のように、外来語、混種語、いわゆる「語+レベルの複合語」、句における〈n挿入〉の実現様相は、いずれも辻野裕紀(2014b)で明らかにした固有語や漢字語のそれと概ね類似しており、後行要素の頭音をはじめ、後行要素の長さ、先行要素の末音、なじみ度、語構造、後行要素の第1音節の音節構造、語句の長さ、発話速度など、様々な要因が複合的に関ざり合い、絡み合っているものという。

非若年層ソウル方言話者における〈n挿入〉や〈n挿入〉の方言差の仔細な実態把握については今後の課題であるが、本調査を通して、〈n挿入〉の社会言語学的側面の露頭が見え始めたと言える。

辻野裕紀(2012, 2013, 2014ab)および本稿で論じてきた〈n挿入〉をめぐる問いは、換言するならば、〈形態素〉と〈形態素〉が接合するときに一体何が起きるかという、いわば〈形態素接合論〉的な問いであったと言ってもよい。朝鮮語にはこのような、〈形〉と〈形〉が接合する際に生じる〈音韻論的現象〉ないし〈形態音韻論的現象〉が数多存在する。筆者の一連の〈n挿入〉攷は、朝鮮語のそうした龐大な目眩く音韻システムの一端を描き出さんとしたものである。

【附記】本研究は、平成24年度科学研究費補助金研究活動スタート支援(研究課題番号:24820032)「現代朝鮮語における〈n挿入〉の総合的研究」の成果の一部である。また、本稿の内容は、筆者の博士学位論文『朝鮮語〈n挿入〉攷 一音韻論と形態論一』(東京大学, 2014年度)の第6章の一部に鈇鉞を加えたものである。

【謝辞】本稿の執筆にあたっては、多くの方々のお力添えを得た。まず、調査の便宜を図ってくださった、安平鎬先生、朴一昊先生をはじめ、誠信女子大学校日語日文学科の先生方、崇実大学校の河崎啓剛先生、調査に快く協力してくださったインフォーマントの皆さんに衷心より感謝申し上げる。また、執筆過程で多くの貴重なご教示を賜った、東京大学の福井玲先生、



本田洋先生, 生越直樹先生にも深甚なる謝意を表したい。

註

- (1) //内は音素表記であり, 本稿の音素表記は趙義成・呉文淑(2004)に依る。
- (2) 〈n挿入〉が生じるための条件, 特に形態論的条件については, 辻野裕紀(2013)を参照されたい。
- (3) 調査は誠信女子大学校(城北区)と崇実大学校(銅雀区)の研究室や教室で行なった。インフォーマントはすべて大学生である。
- (4) 「読み上げ式とは, 紙に書いた単語や文をそのまま, あるいは方言に直して読み上げてもらう方式の調査である。」(木部暢子2007: 33)
- (5) 語については, 基本的にインフォーマントに単独形を発音してもらい, 句や一部の語については, 当該の語句を含む例文全体も読み上げてもらった。使用頻度が低そうな語や単独では意味が分かりにくい語などについては, 予め調査票の語の横に朝鮮語で解釈を付しておき, さらに, 必要に応じて口頭で説明を行なうなど, 誤解が生じないように, 最大限, 意を用いた。
- (6) また, 1語として辞書に記載されていないものでも, 形態的緊密性 (lexical integrity) (形態的緊密性については影山太郎(1993: 10-11, 2010: 2)参照)が認められるものについては, 句ではなく, 語として扱う。
- (7) 表中の○は국립국어연구원(1999)の見出し語の発音表示において〈n挿入〉が起きることになっているもの, ×はそうでないもの, ?は見出し語として当該の語が登録されていないことを表す。
- (8) 〈n挿入〉実現率。以下の表もすべて同様。
- (9) 終声の初声化実現率。以下の表もすべて同様。
- (10) 休止実現率。以下の表もすべて同様。
- (11) 同じく先行要素の末音が /g/ である에릭-요한슨, 에릭-인그라함も同じ人名である손-영, 손-이스너に比べて, 休止を志向するインフォーマントが多かった。各々の休止実現率は順に36.4%, 60.6%, 3.0%, 6.1%であった。
- (12) 辻野裕紀(2014b: 33)参照。
- (13) 姓と名の間に休止が決して生じない韓国人の人名の発音(辻野裕紀2014b: 39参照)と対照的である。
- (14) 학여울の駅のローマ字表記はHangnyeoulとなっており, 地下鉄の車内放送でも[항녀울]と発音しているようである。また, ある朝鮮語母語話者によれば, 학여울の地元の人々は[항녀울]と発音する人が多いとのことで, 「なじみ度」も関与している可能性がある。なお, これは, 당고개를, 당고개의住民は[당고개]と発音するのに対し, 他の地域の人たちは[당고개]と発音する傾向があるのとよく似ている。국경아 외(2005: 44-45)参照。

- (15) 행-여의 -여は通時的には-혀 (cf. 전혀, 독혀) に遡及するものである。
- (16) なお, 잉어は本来は漢字語起源。
- (17) 辻野裕紀 (2014b: 17-18) 参照。
- (18) 辻野裕紀 (2014b: 17-18) および本稿3.1.3.を参照。
- (19) 大阪外国語大学朝鮮語研究室編 (1986: 827) によれば, 연귀の漢字は「縁歸」である。ただし, 辞書によっては, 「燕口」が元とするもの (국립국어연구원1999) もある。
- (20) 〈n挿入〉の機能が「音節構造の変容を防遏し, 形態素境界を明瞭にする」ところにある (辻野裕紀2014a: 90) とするならば, 〈1音節+1音節〉という構造をしており, かつ先行要素の末音が /n/ の場合の〈n挿入〉の必要性はやや希薄である。何となれば, 現代朝鮮語においては外来語などを除き, 語頭に /ni/, /njV/ (Vは単母音) のごとき音節が立つことはなく, 〈n挿入〉を起こさなくても, 形態素境界が一意的に決まるからである。辻野裕紀 (2014b: 13) 参照。
- (21) 「カリフラワー」を意味する語としては, 꽃-양배추よりも콜리플라워がより一般的である。また, 맛-연귀は建設用語であり, 一般的な20代の大学生にとって明らかになじみ度が低い語である。
- (22) 辻野裕紀 (2014b: 32, 37-39) 参照。
- (23) 影山太郎 (2010) は, 日本語の「学生がエレベーター使用のときは」の「エレベーター使用」のようなタイプの複合語を「統語的複合語」(post-syntactic compounds, S構造複合語) と称し, 朝鮮語の「학생이 엘리베이터 사용 시에는», 「비행기가 나리타공항 착륙 시에는», 「동경에서 대지진 발생 시에는」などといった例を併せて論じているが (下線は引用者による), 朝鮮語のこうした複合語は「語+レベルの複合語に過ぎず, 日本語のように統語的な編入 (incorporation) によるのではないと結論づけてよいだろう」と述べている。
- (24) 先行要素 (쿠손) は外来語であるが, 便宜上, 茲で扱うことにする。
- (25) 体言に助詞等がついていない裸の形を「絶対格」と呼ぶことにする。
- (26) とりたて助詞 (補助詞) の는/은がついており, かつ統辞論的に目的語として機能しているものを便宜上, 「主題目的語」と呼ぶことにする。
- (27) 合成語の結果等を考慮すると, 後行要素の頭音が /l/ でかつその長さが1音節の固有語の場合には〈n挿入〉が起きやすい可能性があるが, 〈体言+体言〉の調査句にはそのような句が含まれていなかったため, 茲ではとりあえず語種は問題としないでおく。
- (28) 否定副詞はこの点で接頭辞的と言える。辻野裕紀 (2013: 23) も参照。
- (29) うち, [비디른] と発音したインフォーマントは66.7%, [비진는] と発音したインフォーマントは33.3%であった。
- (30) うち, [비디른] と発音したインフォーマントは全インフォーマントの60.6

%, [미치른]と発音したインフォーマントは全インフォーマントの3.0% (1名), [미지른]と発音したインフォーマントは全インフォーマントの3.0% (1名)であった。

- (31) しかし一方で, 同じような音的条件の웃갓 여미고では〈n挿入〉実現率が非常に高く現れている。これはもしかすると [더] という, 現代朝鮮語では一部の用言活用形 (e.g. 디더《踏んで》)を除き, ほとんど現れない音節を忌避しようとする傾向の現れかも知れない。웃 입어や빛 잃은, 꽃 이뿌 (5.4. および 5.5. 参照) などでは終声の初声化を志向するインフォーマントも相対的に多くいたこともその証左になりうる ([디] は現代朝鮮語に遍在する音節である)。しかし, 꽃 예뿌 (5.4. 参照) の例を見ると必ずしもそうとは言えず, さらなる検討が必要である。

#### 参考文献

- 大阪外国語大学朝鮮語研究室編 (1986) 『朝鮮語大辞典 下巻』, 東京: 角川書店。  
 影山太郎 (1993) 『文法と語形成』, 東京: ひつじ書房。  
 影山太郎 (2010) 「日本語形態論における漢語の特異性」, 大島弘子・中島晶子・ブラン, ラウル編『漢語の言語学』, 東京: くろしお出版。  
 木部暢子 (2007) 「調査方法を選ぶ」, 小林隆・篠崎晃一編『ガイドブック方言調査』, 東京: ひつじ書房。  
 趙義成・呉文淑 (2004) 「朝鮮語」, 『言語情報学研究報告 4 通言語音声研究 音声概説・韻律分析』, 東京: 東京外国語大学大学院地域文化研究科 21世紀 COE プログラム「言語運用を基盤とする言語情報学拠点」。  
 辻野裕紀 (2012) 「現代朝鮮語の〈n挿入〉をめぐる一形態論的条件と語種論的条件を中心に」, 『外国語教育研究』15, 東京: 外国語教育学会。  
 辻野裕紀 (2013) 「言語形式の自立性と音韻現象—現代朝鮮語の〈n挿入〉を対象として—」, 『朝鮮学報』229, 天理: 朝鮮学会。  
 辻野裕紀 (2014a) 「現代朝鮮語の〈n挿入〉に関する一考察—発生論と機能論—」, 『韓国朝鮮文化研究』13, 東京: 東京大学大学院人文社会系研究科韓国朝鮮文化研究室。  
 辻野裕紀 (2014b) 「現代朝鮮語における〈n挿入〉の実現実態について(1)—若年層ソウル方言話者を対象に—」, 『朝鮮学報』232, 天理: 朝鮮学会。  
 국경아・김주원・이호영 (2005) 「선호도 조사를 통한 ㄴ첨가 현상의 실현 양상 연구」, 『말소리』53, 서울: 대한 음성학회。  
 국립국어연구원 (1999) 『표준국어대사전』, 서울: 두산동아。